

# 令和 2 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

---

1 管理体制

2 運営および経営の取組

3 動物の飼育管理

4 施設等の維持管理

5 管理運営経費

# 令和2年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

総括	1
<b>1 管理体制</b>	<b>1</b>
（1）動物園等の管理体制	1
（2）コロナ対策の取組	2
（3）人材育成	2
（4）緊急・災害時の対応	4
<b>2 運営および経営の取組</b>	<b>6</b>
（1）目標達成状況	6
（2）集客対策	8
（3）管理の質・来園者サービスの向上の取組	16
（4）教育普及	18
（5）自主事業等の取組	21
（6）自己評価	28
<b>3 動物の飼育管理</b>	<b>29</b>
（1）動物の飼育計画	29
（2）動物舎および展示場の管理	29
（3）動物の繁殖計画	30
（4）動物の獣医学的衛生管理	31
（5）野生動物の保護	31
（6）調査・研究	32
<b>4 施設等の維持管理</b>	<b>36</b>
（1）施設管理の基本事項	36
（2）施設および設備の維持管理	37
（3）園地および遊具等の維持管理	37
（4）施設および設備等の安全対策	38
<b>5 管理運営経費実績</b>	<b>38</b>
（1）算定の考え方	38
（2）正味財産増減計算書内訳表	40

(資料) 各種実績の経年推移等

□ 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル 2 階 (本部)
代表者	理事長 福山 一男
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日 (よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園)

□ 施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園 (動物園を除く)		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1 (こども自然公園内)	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東 5-15-1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園 (動物園を除く)		

□ 動物点数 (令和 3 年 3 月 31 日現在)

よこはま動物園	100 種 758 点
野毛山動物園	92 種 1,868 点
万騎が原ちびっこ動物園	3 種 146 点
小計	92 種 2,014 点
金沢動物園	51 種 1,058 点
合計	209 種 3,830 点

□入園者数 (単位：人、カッコ内は前年度比%)

年度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原 ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2,246,476 (-)	354,504 (75.7%)	133,355 (113.2%)	399,049 (65.8%)	3,133,384 (-)
H12	1,336,842 (59.5%)	374,400 (105.6%)	126,780 (95.1%)	283,051 (70.5%)	2,121,073 (67.7%)
H13	1,267,011 (94.8%)	509,514 (136.1%)	143,070 (112.8%)	286,170 (101.1%)	2,205,765 (104.0%)
H14	1,066,189 (84.1%)	474,984 (93.2%)	126,192 (88.2%)	268,841 (93.9%)	1,936,206 (87.8%)
H15	1,059,479 (99.4%)	531,661 (111.9%)	158,962 (126.0%)	271,463 (101.0%)	2,021,565 (104.4%)
H16	959,749 (90.6%)	449,658 (84.6%)	185,484 (116.7%)	264,134 (97.3%)	1,859,025 (92.0%)
H17	1,014,329 (105.7%)	497,875 (110.7%)	172,911 (93.2%)	288,524 (109.2%)	1,973,639 (106.2%)
H18	1,044,563 (103.0%)	542,537 (109.0%)	157,654 (91.2%)	310,237 (107.5%)	2,054,991 (104.1%)
H19	1,107,583 (106.0%)	547,461 (100.9%)	131,037 (83.1%)	301,503 (97.2%)	2,087,584 (101.6%)
H20	1,153,756 (104.2%)	577,807 (105.5%)	134,547 (102.7%)	330,496 (109.6%)	2,196,606 (105.2%)
H21	1,221,868 (105.9%)	680,777 (117.8%)	140,678 (104.6%)	355,067 (107.4%)	2,398,390 (109.2%)

H22	978,791 (80.1%)	659,759 (96.9%)	105,277 (81.8%)	316,843 (89.2%)	2,060,670 (85.9%)
H23	959,231 (98.0%)	765,085 (115.9%)	128,577 (122.1%)	292,333 (92.2%)	2,145,226 (104.1%)
H24	889,489 (92.7%)	992,464 (129.7%)	164,733 (128.1%)	279,980 (95.7%)	2,326,666 (108.4%)
H25	920,787 (103.5%)	968,855 (97.6%)	174,078 (105.6%)	284,843 (101.7%)	2,348,563 (100.9%)
H26	941,781 (102.2%)	1,012,000 (104.4%)	185,864 (106.7%)	285,459 (100.2%)	2,425,104 (103.2%)
H27	1,216,132 (129.1%)	1,095,448 (108.2%)	138,266 (74.6%)	287,099 (100.6%)	2,736,945 (112.9%)
H28	1,086,486 (89.3%)	844,401 (77.1%)	121,509 (87.9%)	305,858 (106.5%)	2,358,254 (86.2%)
H29	1,149,654 (105.8%)	721,131 (85.4%)	126,563 (104.2%)	321,990 (105.3%)	2,319,338 (98.3%)
H30	1,077,317 (93.7%)	638,518 (88.5%)	121,219 (95.8%)	299,098 (92.9%)	2,136,152 (92.1%)
R1	982,820 (91.2%)	548,927 (86.0%)	106,528 (88.0%)	246,982 (82.6%)	1,885,257 (88.3%)
R2	754,247 (76.7%)	390,886 (71.2%)	34,202 (32.1%)	263,224 (106.6%)	1,442,559 (76.5%)

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の通り臨時休園や入園制限を実施。

- ・三園とも

4月1日(水)～6月10日(水) 臨時休園 (延べ よこ : 66日間、野 : 65日間、金 : 65日間)

8月毎週土日祝「よこはま夜の動物園」を中止 (延べ11日間)

- ・野毛山動物園

6月13日(土)～6月28日(日) 土日臨時休園 (延べ6日間)

- ・よこはま動物園

6月11日(木)～9月6日(日) 1日あたりの入園者数を先着順により5,000人程度に制限

9月7日(月)～10月18日(日) 1日あたりの入園者数を事前予約制(インターネット・電話)により5,000人程度に制限

10月19日(月)～3月31日平日の事前予約は不要とし、土日祝日は事前予約制(インターネット・電話)により1日あたりの入園者数を8,000人程度に制限(令和3年度4月1日以降も継続)

上記のほか、万騎が原ちびっこ動物園において、2月15日(月)～3月31日(水) 工事による臨時休園を実施(延べ45日間)。

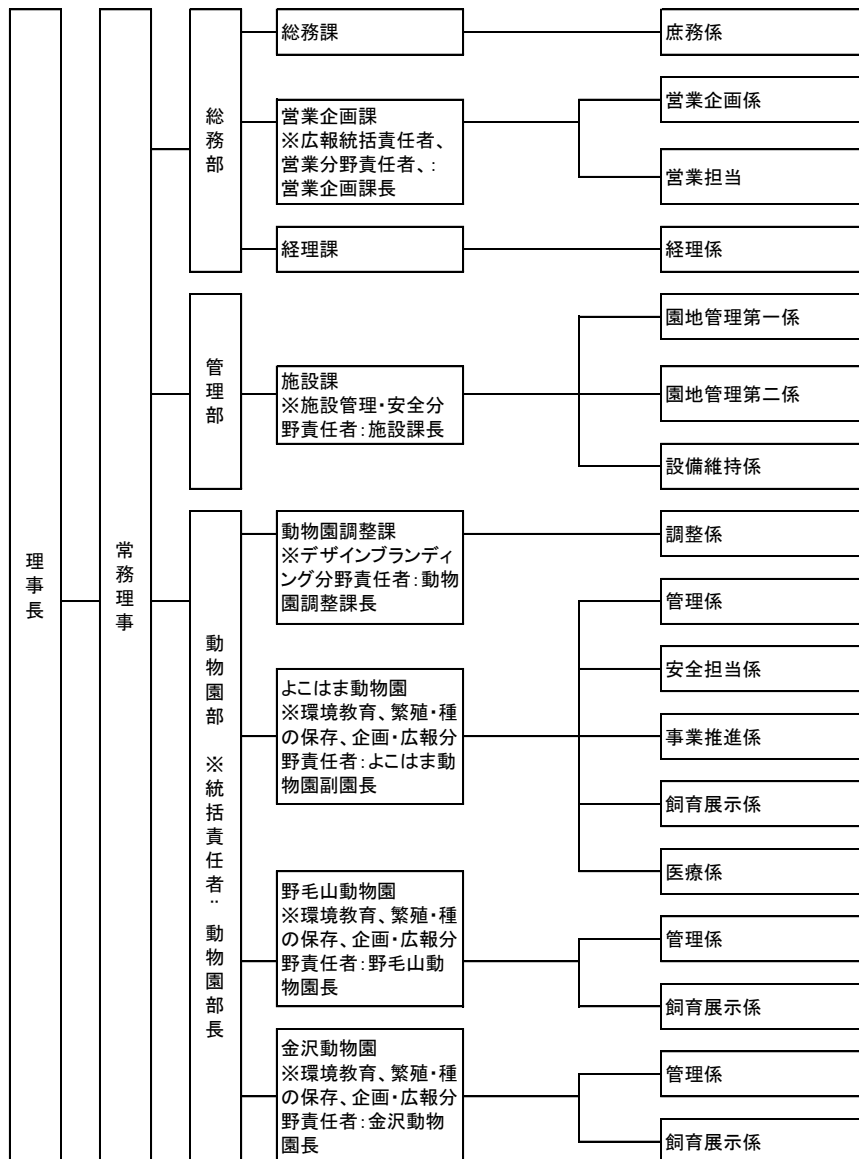
## 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の世界的な拡大という前例のない事態に直面し、その対応に追われる事態となりました。そのため、横浜市からの要請により、動物園での長期に亘る臨時休園・入場制限を実施し、また、事業計画にもとづき予定していたイベント等の中止や内容変更を余儀なくされました。コロナの影響は令和2年度の動物園運営に大きな影響を及ぼしましたが、ブログやSNSでの情報発信を強化するとともに、一部のイベント・催事については、感染拡大防止対策に十分に配慮しながら事業を実施しました。

## 1 管理体制

### (1) 動物園等の管理体制

当団体は多くの施設を管理していることから、一元化することによってより効率的・効果的に遂行できる業務については、本部に統括部門を置いて執行しています。業務の円滑化を図るため、統括責任者の下に動物園調整部門を置き、動物園の現場には、高い専門性を発揮できるように、責任者として課長職を、専門分野ごとの責任者として係長を配置し、各園の管理運営を行いました。



## (2) コロナ対策の取組

### ① 来園者に対する取組

コロナ対策として、前年度2月29日から6月10日まで三園とも臨時休園しました。休園期間中はブログやSNSを活用し、動物の様子を伝える情報発信を積極的に行いました。

三園の再開園にあたっては、対応マニュアルを整備し、職員や委託業者に共有するとともに、神奈川県による「感染防止対策取組書」および「LINE コロナお知らせシステム」への登録を行い、入園口においてサーモグラフィを使用した検温（7月中旬まで）や手指のアルコール消毒の実施、一部園路の封鎖や動線の変更、園内施設のこまめな消毒、密を避けるためのサインの掲出や呼びかけを行いました。また、各園で通常実施しているガイドやイベントの多くが中止となったため、代替する動画を配信し、読み込むことで動画を見ることができ二次元バーコードを記載した案内を配布することで来園者の満足感を損なうことのないよう努めました。

よこはま動物園では、園内での密を避けるため、入園の人数制限を行いました。当初先着順で5,000人程度の入園制限を実施していましたが、その後、来園者の利便性と安全性の向上のため、9月7日からオンラインおよび電話での事前予約システムを導入しました。その後、10月19日より平日の事前予約制を取りやめ土日祝日のみ事前予約制とするとともに、1日当たりの入園者数の上限を8,000人程度に拡大しました。

### ② 職員に対する取組

各園においては、職員向けのガイドラインを整備し、職員の出勤時の検温の実施、就業中のマスク着用、手洗い等の基本的な対策を徹底したほか、業務の状況を勘案しつつ、時差出勤・時短勤務、シフト制の導入、在宅勤務の実施による出勤者数の調整等の対策を行いました。その結果、職員におけるコロナ感染者の発生は見られず、業務への影響は最小限に抑えられました。

## (3) 人材育成

動物園の中心的な役割を担う動物職、獣医職等の専門職の育成については、長期的に取り組むべき課題と位置付けています。階層別、分野別の研修を通じ、OJT（職場内訓練・教育・研修）およびOff-JT（職場外訓練・教育・研修）を組み合わせる人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。

令和2年度においては、動物園における事故防止を目的とし、内部講師によるヒヤリハット研修、階層別研修を新たに実施しました。また、動物福祉への理解を深めるため、帝京科学大学が主催する動物福祉学入門をリモート受講しました。

### ① 各種研修の実施

令和2年度に実施した研修は以下の通りです。

## 【令和2年度 研修実施・参加実績】

### <基本研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
9月23、25日、11月2日	普通救命講習 (AED含む)	新採用職員、未受講者、前受講から3年経過した者	3時間×3回
11月16、17、19日、12月8日	ハラスメント・メンタルヘルス研修	管理職	6時間15分×4回
9月28日、1月21日	安全運転講習	車両運転に従事する職員(希望者)	2時間30分×2回
適宜(DVD視聴による実施)	CS・接遇・個人情報保護研修	全職員	1時間10分×適宜
適宜(管理職から職員へ各所属にて実施)	職員向けメンタルヘルスケア研修	全職員	適宜

### <一般業務研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
8月27日	文書・経理事務取扱研修	新採用職員および希望者	2時間15分

### <専門職研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
6月26日、7月17日、8月14日、9月9日、10月23日、11月11日、12月18日、3月12日	楽しく学ぶ動物園学 (よこはま動物園園長による講義)	飼育展示係職員(よこはま)	1時間×8回
10月26日(金)(金) 10月29日(月)(よこ) 11月30日(月)(野毛)	ヒヤリハット研修	飼育展示係職員	1時間×3回
1月27日～3月3日 (リモート受講)	動物福祉学入門 (帝京科学大学主催)	飼育展示係職員	8時間
3月22日(対面実施)、 適宜(動画視聴)	野生生物保護研修	飼育展示係職員	2時間
中止	動物園技術者研究会	飼育展示係職員	-

### <階層別研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
4月1、2日(よこ) 4月1日(野毛・金)	新採用飼育・ガイド研修	新採用飼育展示係職員	2時間×2回(よこ) 5時間(野毛) 7時間(金)
11月16、17、19日	管理職研修	管理職	6時間15分×3回

12月中適宜（レポート形式により実施）	安全対策強化のための年代別研修	中堅～ベテラン飼育展示係職員	適宜
1月13日～2月6日	動物園学研修	新採用飼育展示係職員（野毛山）	6時間

② 資格取得の奨励

業務上必要とされる資格について、取得の奨励を行った結果、以下の通り13名が新規に資格を取得しました。

【令和2年度 資格取得実績】

資格名	人数
飼育技師	コロナの影響により試験中止
学芸員	1（野毛山1）
フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	2（よこはま2）
刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	5（金沢5）
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	2（野毛山2）
安全運転管理者	1（野毛山1）
伐木作業の業務に係る特別教育	2（野毛山2）

③ その他

職員が安心して業務に取り組むことのできるよう、健康管理および職場環境の維持に取組みました。

【令和2年度 健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
定期健康診断	7月～12月
予防接種（破傷風、B型肝炎）	5月～12月
一般的な感染予防対策	適宜
安全衛生委員会（よこはま）	毎月1回
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜
公用車へのドライブレコーダー取り付け	3月～（原則全車両）

(3) 緊急・災害時の対応

各園にて緊急対応体制や緊急対応マニュアルの整備と適宜見直しを行い、定期的な訓練を行いました。

よこはま動物園では、旭消防署都岡出張所の協力により、消火訓練、放水訓練、煙体験等の実用的な訓練を行いました。捕獲訓練は、コロナ拡大防止の観点から実地訓練を取りやめ、動物脱出についてシナリオを用意し、その対処法について考察する机上訓練を行いました。

野毛山動物園では、西消防署職員を迎え発災確認、集合、消火、来園者誘導訓練等実際に即した訓練を実施した。動物逸走時の捕獲訓練は、コロナ拡大防止のため、ソ



ーシャルディスタンスを確保しながら捕獲道具の点検確認とその取扱方法について確認を行いました。

金沢動物園では、金沢消防署員の指導に基づく初期消火訓練を実施しました。また、動物逸走時の捕獲、来園者の避難誘導・救護訓練については、コロナ拡大防止のため、実務訓練を中止し机上訓練を行うとともに、麻酔銃の試射訓練や捕獲用具の点検、発電機の始動点検を行いました。

### 【令和2年度 訓練実施実績】

#### <情報受伝達訓練（当団体全体）>

実施日	9月18日
実施場所	横浜市緑の協会本部、よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園、その他当団体管理の各公園および駐車場
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、約300名
訓練項目	情報受伝達訓練
訓練内容	午前11時に、横浜市内で震度5強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。動物園においては、職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査（職員・委託業者ともに無線にて）し、一般住民の避難受け入れ態勢の整備を指示し、動物園調整課に情報を集約した。また、各園ともに無線による被災状況の把握も実施した。各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

#### <防災訓練>

##### よこはま

実施日	9月17日
実施場所	管理棟職員通用口前
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、42名
訓練項目	防災講和、消火訓練、放水訓練、煙体験
訓練内容	旭消防都岡出張所の協力を得て、防災訓練を実施した。所長から防災について講和を受け、訓練では炎に見立てたプレートに向かい放水する消火訓練や、火災現場内を想定した煙体験、屋内消火栓を使用したホースの接続や操作、放水までを体験した。

##### 野毛山

実施日	9月28日
実施場所	ペンギン舎前広場
参加人数	西消防署員、横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、30名
訓練項目	発災、集合、消火、来園者誘導訓練
訓練内容	様々な災害に備えて西消防署の協力の下、職員による水消火器による消火訓練、状況に応じた来園者の誘導法を実践する訓練を実施した。

金沢

実施日	11月9日、20日
実施場所	わくわく広場、金沢自然公園ののほな館裏
参加人数	金沢消防署釜利谷出張所長、金沢区消防団員4名、 横浜市緑の協会職員 約17名、委託業者スタッフ 約10名
訓練項目	初期消火体験訓練
訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。 園内の防災設備の使用方法を学び、実際に消防ホースを格納庫から出し、消火栓とつなぎ、放水訓練を行った。併せて、水消火器による消火訓練も行った。

<動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	1月25日（金沢）、2月（よこはま）、2月22日（野毛山）
実施場所	よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ 約100名
訓練項目	避難誘導・逃亡動物の捕獲等の机上訓練、捕獲道具の点検確認・取扱方法の確認
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生した想定の下で、避難誘導・動物逃亡捕獲の机上訓練を実施した。また、捕獲用具等の使用確認を行った。

2 運営および経営の取組

(1) 目標達成状況

① 入園者数

令和2年度横浜市立動物園等の管理に関する年度実施協定書に定めた目標に対する実績は以下の通りでした。

よこはま動物園の入園者数は約75万人、野毛山動物園は約39万人、金沢動物園は約26万人、三園合計は約144万人となりました。

令和2年度はコロナ拡大防止のための臨時休園（三園とも：2月29日～6月10日）を行ったため、繁忙期である4月から5月の入園者数がゼロとなる等、大きな影響を受けました。このため、目標入園者数を達成することはできませんでしたが、臨時休園を行わなかった期間の入園者数については、コロナの影響を受けなかった一昨年と同程度か、それ以上の入園者数となりました（詳細は「(資料) 各種実績の経年推移等」参照）。

園名	目標入園者数	令和2年度入園者数 (目標達成率)
よこはま動物園	1,250,000人	754,247人 (60.3%)
野毛山動物園	700,000人 (管理運営における入園者数の想定)	390,886人 (55.8%)
金沢動物園	330,000人	263,224人 (79.8%)

① 種の保存（国際的な繁殖計画への参画・連携数）

国際的な繁殖計画への参画・連携数として、目標 10 種に対し、セスジキノボリカンガルー、レッサーパンダ、オカピ等 10 種について、参画・連携をしました。

2 年度 の目標	キノボリカンガルー・レッサーパンダ等 10 種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取組概要	<p>&lt;参画した種&gt; 4 種</p> <p>① セスジキノボリカンガルー (GSMP) : フランクフルト動物園 (ドイツ) から新規雌 (No. 12) 導入。No. 10 ♀の発情にあわせ No. 11 ♂と同居し、交尾確認するも繁殖に至らず。</p> <p>② レッサーパンダ (GSMP) : No. 22 ♂×No. 19 ♀のペアリングを実施し、7 月に出産するも死産。野毛山動物園から新規雌 (No. 21) を移管し、No. 22 とペアリング実施し、交尾確認。</p> <p>③ オカピ (SSP) 上野動物園からの新規雄 (No. 11) 導入。No. 5 ♀および No. 10 ♀とペアリングを実施し、No. 10 と交尾確認。</p> <p>④ スマトラトラ (GSMP) : No. 4 ♀および No. 13 ♀の発情にあわせペアリングを実施するも交尾に至らず。</p> <p>&lt;連携した種&gt; 6 種</p> <p>⑤ ヤブイヌ (EEP) : No. 40 ♂と No. 60 ♀のペアリング実施。京都市動物園からの新規雄 (No. 61) 導入</p> <p>⑥ テングザル : 1 年間の飼育委任については、インドネシア政府と覚書を締結したが、原契約の更新については調整継続中。</p> <p>⑦ コアラ (アンバサダー契約) : アンバサダー契約の下、国内の繁殖計画に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告をする等関係機関との調整を実施。</p> <p>⑧ インドライオン : ネール動物園 (インド) からの♀個体導入に関して CZA (インド動物園協会) と個体交換の契約締結。共同繁殖計画の合意書、衛生条件等を調整中。</p> <p>⑨ アカアシドクランゲール : 個体交換について ZPO (タイ王立動物園機構) と覚書締結。血統更新のための個体交換の調整を実施。</p> <p>⑩ ヘサキリクガメ : 国際血統登録者 (兼 EEP 調整者) およびカーディフ大学 (イギリス) と協力して遺伝子解析を実施に向けて調整を実施。</p> <p>このほか、チェコ共和国からドールの新規雌 (No. 45) を導入。</p>

\*GSMP: 世界動物園水族館協会 (WAZA) が策定する国際種管理計画

\*\*SSP: 北米動物園水族館協会 (AZA) が策定する種保存計画

\*\*\*EEP: 欧州動物園水族館協会 (EAZA) が策定する欧州絶滅危惧種計画

② 環境教育

環境教育プログラムの改善については、目標 3 件に対し、12 件を改善しました。

2 年度 の目標	学校等の団体に 25 種の環境教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を 3 件以上行うこととする。
-------------	---

<p>取組概要</p>	<p>【取組】学校等の団体向けに25種の環境教育プログラムを提供できるよう準備し、8種のプログラムを実施しました。また、プログラムの改善を12件行いました。改善内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コロナ拡大防止のため、各プログラムの定員削減、実施時間等の見直しを行った（3園）</li> <li>② 動物福祉に対する取組を充実させるために「動物園の概要」の内容を更新した（よこはま）</li> <li>③ コロナ拡大防止のため、「レッツスタディ・ズーラシア」をDVDによる事前学習と来園後のミニレクチャーで実施した（よこはま）</li> <li>④ コロナ拡大防止のため、「出張どうぶつえんスクール」「職業講話」をオンラインでも実施した（よこはま）</li> <li>⑤ 旭陵高校との連携授業の講義と生徒の発表をオンラインで実施した（よこはま）</li> <li>⑥ コロナ拡大防止対策にともない小動物のふれあいに関するプログラムが中止となったため、新規で動物に触れ合うことなく実施可能な「小動物観察プログラム（事前予約）」を期間限定（10～12月）で実施した（野毛山）</li> <li>⑦ 来園プログラムの「どうぶつ園のじゅうい」「飼育員の一日」の対応をDVDの貸し出しで実施した（野毛山）</li> <li>⑧ 連携授業として、横浜市立浦舟特別支援学校（院内学級）とリモートでモルモットの観察を実施した（野毛山）</li> <li>⑨ 連携授業として、小学校と動物園をリモートで結び、小動物の観察プログラムを実施した（野毛山）</li> <li>⑩ 令和3年度に向けて「ツノにさわろう」「こけこけメーデー」「ゾウ舎バックヤードツアー」「ぼぼちゃんと世界の動物たち」を廃止することとし、新規プログラム「虫はかせになろう」「ヒツジはかせになろう」「ゾウのトレーニングガイド」の準備を進めた（金沢）</li> <li>⑪ 「どうぶつ園のじゅうい」の対応をDVDの貸出しで実施した（金沢）</li> <li>⑫ コロナ拡大防止のため、「出張プログラム（飼育員の一日）」「出張プログラム（どうぶつの赤ちゃん）」「職業インタビュー」「職業講話」の対応を、オンラインとDVDの貸出しで実施した（金沢）</li> </ol> <p>このほか、学校からの要望が多かった申込み方法をFAXからインターネット受付に変更しました（よこはま）。</p>
-------------	---

## （2）集客対策

### ① 主要な取組

#### ア 里山ガーデンフェスタとの連携（継続・拡充）

よこはま動物園では、隣接地区で開催した里山ガーデンフェスタとの連携に取組みました。動物園のイベントポスター内での里山ガーデンフェスタの紹介のほか、連携企画のシールラリー参加者に対して平日の入園料を5割引するサービスの提供、里山ガーデンフェスタ入りロブースでのミニ企画展の実施やバードショーの動画配信等、イベントにおける連携も行いました。

## ② 企業等と連携したキャンペーン等

### ア 三園での取組（KDDI（株）との連携・継続）

三園において、KDDI（株）の携帯電話事業と（株）博報堂が共同で制作するスマートフォンアプリ「one zoo」への参画を継続して行いました。アプリ内で限定の動画や画像を提供することで三園への興味を高めてもらうほか、デジタルスタンプラリーや音声ガイドの提供により来園促進効果を狙ったものです。コロナ拡大防止のための臨時休園中には、よこはま動物園において、初の試みとなる「zoo at home」のライブ配信を実施しました。また、よこはま動物園と金沢動物園において、「one zoo」に有料登録しているユーザーを対象に3か月に1度配布される、動物園の入園料が無料となるクーポンの利用に協力しました（利用者数：よこはま動物園70名、金沢動物園3名）。

このほか、よこはま動物園においてコロナ拡大防止対策として事前予約制を導入するにあたり、KDDI（株）が運用するシステムの無償提供を受けました。

### イ よこはま動物園における取組（継続）

よこはま動物園では、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が展開する「We Brand Yokohama」と連携して、企業研修向けの試行として「進化の学校」を3回シリーズで展開しました。第2回を園内で開催し、教育資源の活用を図りました。

### ウ 野毛山動物園における取組（新規・継続）

野毛山動物園では、衣料クリーニングの地元企業であるラブリー（株）が園と同じタイミングで創立70周年を迎えることから、共同キャンペーンを行い、売上げの一部を園に寄付いただきました。この他、開園70周年に関連して、近隣の鉄道事業者、百貨店（横浜高島屋）、横浜市（市バス、市庁舎アトリウム、野毛ちかみち）等と連携して、ポスター掲出やパネル展等を実施し、70周年記念事業を盛り上げるためのPRを行いました（P.15「園外PR・地域連携活動」にあわせて記載）。

また、神奈川県共同募金会とは、共同募金PR大使としてフンボルトペンギン「アポロ」が大使に就任し、募金時に提供するピンバッジのモデルとなりました。この取組については、共同募金会の広報誌等を通じて広く周知されました。

### エ 金沢動物園における取組（新規）

金沢動物園では、（株）BANDAI SPIRITSのキャラクター「カピバラさん」の誕生15周年を記念したタイアップ企画として、オリジナルデザインの年間パスポート販売や、フォトスポットの設置やパネル展を行うとともに、園内マップへのカピバラさんイラスト掲載等に取り組みました。また、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドと連携して「横浜金沢エリア周遊クーポンプレゼントキャンペーン」を行い、地元企業との関係強化を図りました。コロナの影響で大々的な集客ができない中、ファミリー層に動物園に興味を持っていただくよう、金沢区役所のこども家庭支援課をはじめとした近隣4区の区役所、洋光

台の子育て支援施設に園内マップおよび2割引券を配架し、集客に取り組ましました。

このほか、(株)コミュニカーレによる経済・気候変動・野生動物を関連付けたSDGs関連のオンライン配信企画「テナガザルの漫談紀行～動物と人間の共生の森～」に協力し、コンテンツ制作や撮影、職員の登壇を行いました。

### ③ 広報

#### ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については以下の通りでした。

種別	媒体	令和2年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS等 (P.10～14参照)	目標	ポスター制作：5回 ホームページイベント特設サイト制作：1回
		実績	ポスター制作：3回（臨時休園および「よこはま夜の動物園」中止のため） ホームページイベント特設サイト制作：1回
間接 広報	記者発表、雑誌、市・区広報紙、web (P.14参照)	目標	メディア掲載件数：1,000件
		実績	703件 新聞：62件（よこはま33件、野毛山15件、金沢14件）、テレビ：149件（よこはま96件、野毛山30件、金沢23件）、雑誌：53件（よこはま45件、野毛山6件、金沢2件）、インターネット：153件（よこはま110件、野毛山34件、金沢9件）、その他（フリーペーパー等）：286件（よこはま212件、野毛山29件、金沢45件）
広域 広報	首都圏ファミリー利用施設、インターネット広告でのPR（P.14参照）	目標	2回 新規直接広報媒体開拓：1件
		実績	なし（「よこはま夜のどうぶつえん」中止のため）

#### イ 直接広報

##### (ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて多様な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。ポスター・看板類は、三園ともに市民利用施設、鉄道事業者、バス運行会社等に協力を依頼し、広く掲出しました。また、動物園の役割を来園者の方々にわかりやすく伝えるため、新たに入園口付近に看板を設置するとともに、同様の内容をホームページでの発信も行いました。

#### 【令和2年度 主な看板類掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅（相鉄線）、鶴ヶ峰駅（相鉄線）、三ツ境駅（相鉄線）、中山駅（グリーンライン・JR）、日吉駅（グリーンライン）、新横浜駅（ブルーライン）、横浜駅（ブルーライン）、動物園入口交差点に看板掲出

野毛山	動物園通りバナーフラッグ、野毛山動物園前バス停前・野毛坂中間の三園掲示板、案内矢印（中央図書館前）、野毛ちかみち掲示板とデジタルサイネージ、ラッピングバス「ぶらり野毛山動物園 BUS」、JR 横浜駅、みなとみらい線、横浜高島屋、京浜急行日ノ出町駅
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ（すずらん商店街）、大型看板（金沢文庫駅ホーム）、看板掲出（金沢文庫駅西口階段）、バナーフラッグ（ふれあい商店街）、ベンチ看板（JR 洋光台駅ホーム）

ウ 各種広報印刷物（ポスター、チラシ、リーフレット等）の発行・配布  
観光施設や交通機関、公共機関、近隣施設等にリーフレットやイベントチラシを設置し、動物園の情報を積極的に発信しました。

よこはま動物園では、里山ガーデンフェスタと連携して作成したリーフレットを市内で広く配布し、里山ガーデンとあわせて来園を促進するよう取り組みました。野毛山動物園では、飲食業協同組合や商店街等近隣地域の団体と連携し、各店舗でのポスターの掲出等を行いました。金沢動物園では、京急全駅、京急バス、区内商店街での季節ポスター掲示をはじめ、園内及び金沢区役所で動物園だよりを毎月配布しました。また、各観光施設や近隣宿泊施設への園内マップの配架を行いました。

### 【令和2年度 広報印刷物】

<よこはま>

発行時期	内容
令和2年9月	秋イベントポスターB1版252部・B3版3,115部
令和2年12月	冬イベントポスターB1版252部・B3版3,114部
令和3年1月	園内マップ（日本語版）（増刷）200,000部
令和3年3月	春イベントポスターB1版252部・B3版3,114部、イベントガイド春号40,000部

<野毛山>

発行時期	内容
令和2年6月	園内季刊誌ふお～し～ず～ん夏号（第88号）1,000部
令和2年8月	野毛山動物園秋イベントポスターB1版67部・B3版824部、園内マップ20,000部
令和2年9月	園内季刊誌ふお～し～ず～ん秋号（第89号）1,000部
令和2年11月	野毛山動物園冬イベントポスターB1版66部・B3版857部、園内マップ20,000部
令和2年12月	園内季刊誌ふお～し～ず～ん冬号（第90号）500部
令和3年1月	野毛山動物園春イベントポスターB1版98部・B3版1,832部
令和3年2月	園内マップ20,000部
令和3年3月	園内季刊誌ふお～し～ず～ん春号（第91号）1,500部

<金沢>

発行時期	広報印刷物名
令和2年6月	金沢動物園だより6月号150部
令和2年7月	金沢動物園だより7月号250部

令和2年8月	金沢動物園だより8月号 250部、秋ポスターB1版 229部・B3版 1,234部
令和2年9月	金沢動物園だより9月号 300部
令和2年10月	金沢動物園だより10月号 350部
令和2年11月	金沢動物園だより11月号 300部、冬ポスター B1版 227部・B3版 1,225部
令和2年12月	金沢動物園だより12月号 200部
令和3年1月	金沢動物園だより1月号 200部
令和3年2月	金沢動物園だより2月号 200部、春ポスター B1版 227部・B3版 1,225部
令和3年3月	金沢動物園だより3月号 250部、園内マップ 30,000部

#### エ 有料広告の出稿

イベント情報や施設情報について、より効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。

#### 【令和2年度 有料広告出稿実績】

園名	媒体名	内容
三園	横浜市営バス	季節のイベント情報
野毛山	フリーペーパー「mirea」	飼育動物、ショップ商品の紹介等

#### オ ホームページ、SNS の活用

休園日、開園時間、交通アクセス、駐車場、レンタル制度、飼育動物、レストランやショップ等の基本情報のほか、コロナ拡大対策に関する情報、動物の近況やイベント等の最新情報を発信しました（アクセス件数：よこはま 2,128,151件、野毛山 726,236件、金沢 600,594件）。

ホームページ内に開設したブログにおいては、年間 1,188 件（よこはま 633 件、野毛山 319 件、金沢 236 件）の記事を掲載し、動物の繁殖や飼育管理の工夫、各園の特徴を活かした環境教育の取組、イベント情報、臨時休園中の動物の様子等を積極的にわかりやすく発信するよう取り組んだ結果、閲覧件数が前年度比 162.4%（2,290,296 件）となりました。

このほか、SNS（Facebook、Twitter）、動画共有サイト（YouTube）を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報、臨時休園中の動物の様子、休止中の園内ガイドを代替する動画等をタイムリーに発信し、興味や関心を持っていただけるようにしました。特に、コロナ拡大防止のため臨時休園となった期間については、休園中の動物たちの様子等を伝えるための積極的な情報発信に努め、応援や感謝等の好意的なコメントが多く寄せられました。

#### 【令和2年度 ホームページでの情報発信実績】

<三園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成 28 年 7 月～	三園の情報を発信するサイト



<よこはま>

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成 19 年 4 月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成 19 年 5 月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成 21 年 3 月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成 26 年 9 月 8 日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成 26 年 11 月 1 日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ばかばか広場	平成 27 年 9 月 1 日～	ばかばか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介

<野毛山>

特設サイト

名称	時期	内容
70 周年記念特設サイト	令和 3 年 3 月～	令和 3 年 4 月 1 日の野毛山動物園 70 周年に関連する情報を発信するサイト

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年 4 月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぶブログ	平成 21 年 5 月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年 7 月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまとらいおん ～TRY ON～	平成 29 年 6 月～	トラとライオンの日々の様子を紹介

<金沢>

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年 5 月～	飼育員が担当動物について紹介（平成 22 年 1 月よりブログ化）
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
ちっちゃないきものたち	平成 29 年 5 月～	身近ないきもの館の生きものや野生生物について紹介
オオきなツノのヒツジの日記	令和 2 年 8 月～	オオツノヒツジの子の成長や群れの様子、生息地を訪れた様子について紹介

## カ 間接広報

### (ア) プレスリリースによるパブリシティの活用

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。

#### 【令和2年度 プレスリリース件数】

園名	発表件数
よこはま	25
野毛山	6
金沢	14
三園または二園合同	11
計	56

### (イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、三園とも、「広報よこはま」やタウン紙への情報発信を継続的に行いました。

### (ウ) 広域広報

「よこはま夜の動物園」中止に伴い、実施を見送りましたが、前年度に東京新聞へ掲載を行った「よこはま夜の動物園 2019」の広告が中日新聞社広告大賞「読者が選ぶ東京新聞広告賞 部門賞」を受賞しました。

## キ その他の取組

### (ア) 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に協力することで動物園の PR を積極的に行い、来園を促進するよう取組みました。

よこはま動物園では、旭区でオンライン開催された「ASAHI オンラインフェスティバル 2020」において写真や動画を提供し PR 活動を行いました。野毛山動物園では、コロナの影響のため園外に出て実施するものは中止としました。しかしながら開園 70 周年記念を PR するため地域や企業と連携した PR を積極的に実施しました。金沢動物園では、金沢消防署と連携し「それゆけ！キッズ消防隊 ぬりえ」を配架、金沢区の店舗で買い物をするスタンプラリーに協賛したほか、金沢区内の施設を巡回する「金沢区 Run&Walk ラリー」に参加して PR 活動を行いました。また、三園とも、当団体が管理運営する指定管理公園と連携して季節ポスターの掲出を行い、PR 活動を実施しました。

## 【令和2年度 園外PR・地域連携活動実績】

### <三園>

実施日	イベント名
中止	スプリングフェア
中止	昭和の秋まつり（群馬県昭和村）

### <よこはま>

実施日	イベント名
9月19日～10月18日	里山ガーデンフェスタ パネル展「出張ミニうんち展」
10月12日	里山ガーデンフェスタ バードパフォーマンス動画配信
3月27日～（5月9日）	里山ガーデンフェスタ パネル展「ぷちとりたま」

### <野毛山>

実施日	イベント名
8月1日～8月30日	「ミュージアムミッション2020」をウェブサイト上で実施（アクセス数:5,769件）
2月12日～（12月）	市交通局と連携し「ぶらりバス」正面に70周年記念ロゴマークを掲出
3月～9月	市営バス外側側面看板で70周年をPR
3月1日～（4月中旬）	横浜高速鉄道と連携してみなとみらい線等での70周年記念PRを実施（ポスター、デジタルサイネージ広告等）
3月1日～（4月15日）	JR横浜駅 北通路、南通路にて70周年ポスターの掲出
3月12日～（4月30日）	京浜急行日ノ出町駅において70周年記念PRを実施（ポスター掲出、改札口に動物園のぬいぐるみ設置、駅員が記念バッジを装着）
3月13日～3月19日	創立70周年を迎える地元企業であるラブリー（株）と連携し、コラボレーション企画により相互の70周年記念をPR
3月18日～（4月14日）	野毛ちかみちにてデジタルサイネージによるPR
3月30日～（4月13日）	横浜市庁舎にて70周年記念パネル展の実施
3月31日～（4月6日）	横浜高島屋にて70周年記念パネル展の実施

### <金沢>

実施日	イベント名
7月10日～8月31日	横浜金沢エリア周遊クーポンプレゼントキャンペーン
11月26、28日	NEXCO 東日本横浜工事事務所エコハイク
3月1～7日	金沢消防署×金沢動物園「それゆけ！キッズ消防隊 むりえ」
3月8日～（4月23日）	横浜金沢魅力再発見スタンプラリー
3月15日～4月26日	金沢区 Run&Walk ラリー！

#### （イ）各種団体への誘致活動

毎年度末に横浜市内の全学校向けに、動物園利用に関する案内を配布するほか、各種福利厚生団体等との契約を締結し、来園促進を図っています。

**【令和2年度 学校団体入園者数状況】**

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま動物園	団体数	172	179	27	26	404
	人数	10,797	18,407	2,045	2,148	33,397
野毛山動物園	団体数	59	77	2	3	141
	人数	11,227	12,724	186	178	24,315
万騎が原ちびっこ動物園	団体数	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0
金沢動物園	団体数	94	51	6	13	164
	人数	5,346	4,743	435	555	11,079
計	団体数	325	307	35	42	709
	人数	27,370	35,874	2,666	3,881	68,791

**【令和2年度 契約・福利厚生団体入園実績】**

名称	割引率	実施期間	よこはま	金沢
前売り券（相手方専用券：コンビニ）	1割引	6月30日まで	—	142
前売り券（相手方専用券：セット券）	1割引	通年	19	—
前売り券（相手方専用券：コンビニ等）	なし	通年	19,078	494
前売り券（ズーラシア券：ホテル等）	1割引	通年	410	—
前売り券（相手方専用券：ウエイズ）	2割引	通年	3,634	—
計			23,141	636

**【令和2年度 よこはま動物園福利厚生団体誘致状況】**

名称	割引率	実施期間	人数(名)
新聞社（読売）	特殊契約	通年	1,306
福利厚生	2割引	通年	9,042
提携企業会員カード	2割引	通年	33,486
計			43,834

(3) 管理の質・来園者サービスの向上の取組

部門をまたぐ各種会議での情報共有や、利用者の意見を収集する制度を運用し、管理の質・来園者サービスの向上に取組みました。

① 各種会議での情報共有

よこはま動物園では、協会職員に加え、窓口案内や警備、清掃等の委託業者が出席する「向上委員会」を毎月実施し、各月の課題や対策の検討、お客様からのご意見の共有等を行いました。また、警備やバス運転手とのミーティングを毎朝実施し、園内警備や園内バスの運行にあたって、来園者の安全・安心の確保を徹底するよう情報共有を行いました。

野毛山動物園ではショップ・レストランの運営担当者との月1度の定例会議、公園委託業者との四半期ごとの会議を実施し、繁忙期に備えて警備・案内、清掃の委

託業者と混雑時の対応の確認を実施することにより、円滑な管理運営に努めました。

金沢動物園では券売窓口・警備等の委託業者に対し、定例月次会議や個別ミーティングの場を設けて、接遇や応対力の向上を図るよう取り組みました。また、レストランの運営担当者とともに新たなメニュー開発に取組み、サービスの向上につなげました。

② 具体的な取組

環境に配慮した取組として、動物糞の堆肥化による活用や、園内で選定した枝等の再利用、ごみの分別、グリーンカーテン、照明の更新、節電・節水に努めました。また、来園者の利便性の向上として、金沢動物園ではオカピ横トイレの洋式・ウォシュレット化、園内案内看板のリニューアル（11か所）を実施しました。

③ お客様のご意見・ご要望を伺う制度

三園において、11月7日～30日、コロナ拡大防止のため、二次元バーコードを使用する方法に変更し、ウェブサイト上で利用者アンケートを実施しました（回答数：よこはま動物園 870件、野毛山動物園 651件、金沢動物園 378件、三園計 1,899件）。利用者満足度（全体的な満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答された割合）は、よこはま動物園が 98.1%（前年度 98.3%）、野毛山動物園が 97.5%（前年度 98.6%）、金沢動物園が 97.9%（前年度 96.2%）と、前年度とほぼ変わらない高い水準を維持しました。また、アンケートの中での指摘を受け、以下の通りサービスの向上のための改善を行いました。

広聴は1年間でよこはま動物園では 54件、野毛山動物園では 10件、金沢動物園では 17件のご意見・ご要望等が寄せられ、回答が必要なものに対してはすべて2週間以内に回答しました。

【令和2年度 広聴件数（ホームページ等による要望等）】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ご要望	質問・問合せ	お礼・励まし	その他
よこはま	54	0	48	3	3	0
野毛山	10	0	10	0	0	0
金沢	17	0	16	1	0	0
計	81	0	74	4	3	0

【利用者調査アンケート結果にもとづく主な改善事項】

園名	内容
よこはま	レストランでキャッシュレス対応を実施
野毛山	ひだまり休憩所子供用椅子の増設
金沢	新規飲食メニューの開発、新規展示動物の導入（マール、パルマワラビー）、トイレ洋式化（オカピ横）、展示動物の見やすさ向上（インドサイ）

#### (4) 教育普及

三園が連携し、スケールメリットを活かした事業を行うとともに、よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。

##### ① 環境教育プログラム（三園）

事前予約をした学校等の団体向けの環境プログラムとして25種を用意しましたが、コロナの影響により多くのプログラムが中止となり、実施は8種となりました。また、プログラムの改善を12件行いました。（改善項目および内容についてはP. 7を参照）また、コロナ拡大防止のため、オンラインやDVD貸出し、定員の削減等の新たな対応を行いました。

#### 【令和2年度 環境教育プログラム】

<来園プログラム>

三園または二園

プログラム名	概要（コロナ拡大防止対応）	参加人数
① どうぶつ園のじゅうい	獣医の一日を紹介（DVDの貸し出しによる実施を含む）	320（よこ） 39（野） 134（金）
② どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説	中止（よこ、野） 140（金）
③ 動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	中止（よこ、金）
④ 飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介	中止（よこ、金） 75（野）
⑤ ゾウ舎バックヤードツアー	ゾウの寝室と飼料庫（エサ置き場）に案内し、解説	中止（よこ、金）
⑥ 職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	中止（三園とも）
⑦ 職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	中止（三園とも）
⑧ 職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	2（よこ） 中止（野、金）

よこはま

プログラム名	概要	参加人数
⑨ なりきり獣医さん	獣医の仕事についてのお話と、獣医の仕事道具の聴診器等を用いた体験型プログラム	中止
⑩ 動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴等について解説	中止
⑪ しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方の紹介	中止
⑫ オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	中止
⑬ 色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	中止
⑭ 獣医師のお仕事	写真を見ながら動物のケガや病気を説明	中止

金沢

プログラム名	概要	参加人数
⑮動物のたんじょう	動物の誕生の仕組みを動物園での繁殖事例をもとに説明	中止
⑯動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	中止
⑰ツノにさわろう	実物の角に触れ、感触や重さを体験	中止
⑱コケコケめーめー	ブタやニワトリとふれあい、身近な家畜を学ぶ	中止
⑲キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	中止
⑳ぼぼちゃんと世界の動物たち	世界の動物の現状と国際理解を不可得るための解説	中止

<出張プログラム>

三園または二園

プログラム名	概要（コロナ拡大防止対応）	参加人数
⑲動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説（オンライン、DVD貸し出しによる実施を含む）	776（よこ） 88（野） 93（金）
⑳飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介（オンライン、DVD貸し出しによる実施を含む）	217（よこ） 30（野） 465（金）
㉑動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	90（よこ） 中止（野、金）
㉒職業講話	動物園スタッフが学校に出向いて、飼育員が行う仕事について解説（オンライン、DVD貸し出しによる実施を含む）	300（よこ） 80（野） 250（金）

野毛山動物園

プログラム名	概要（コロナ拡大防止対応）	参加人数
㉓かんさつ名人になろう！	専用のワークシートに書きこみながら、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法と観察方法を実践と対話形式で学ぶ。	中止

② 学校等と作り上げるプログラム

学校等と連携し、以下のプログラムを実施しました。

<三園>

プログラム名	概要	参加人数
動物園学習	要望に合わせ、学習プログラムを用意（園内での対面、DVDの貸し出し、オンライン、電話、資料提供、園内での対面実施を含む）	中止（よこ） 33（野） 189（金）

<金沢> 連携授業：2回以上（原則1回以上来園）連続して実施するプログラム

プログラム名	概要	参加人数
連携授業 クラス丸ごと動物園体験	クラス単位で業務を分担して体験し、動物園の運営を学ぶ（オンラインでの実施）	74
連携授業 動物ガイドになろう	動物園や野生動物について学び、「動物ガイド」として、園内で動物解説を実施（DVD 貸出、オンライン、対面による実施）	503
連携授業 動物図鑑を作ろう	毎回課題の動物の解説を飼育員から聞き、写真資料等をそろえてオリジナル動物図鑑を作成する（資料データの提供、DVD 貸出、園内見学による実施）	140
連携授業 タケノコ掘り・梅の実刈り体験	モウソウチクのタケノコ掘り体験や、ウメの実採集体験から、生物のつながりを学ぶ	中止
連携授業 どうぶつの赤ちゃん	ワークシートを活用しながらキリンとカンガルーを観察し、子育てや子どもの成長のしかたの違いを学ぶ（DVD 貸出、ワークシート提供による実施）	182
連携授業 絶滅危惧種の現状と動物園での保全活動	絶滅危惧種の現状と動物園での保全活動の講義（オンラインでの実施）	70

③ 小動物ふれあいプログラム（野毛山動物園）

野毛山動物園では、通常、事前予約をした学校等の団体向けに、モルモット、ハツカネズミ、ニワトリとのふれあいプログラムを実施していますが、令和2年度については、コロナ拡大防止のため実施を取りやめ、新たに「小動物かんさつプログラム」を実施しました（10月19日～12月25日まで、参加：8件648名）。

④ 院内学級等

金沢動物園では毎年、特別支援学校分教室（医療福祉センター内）に職員が出張し、重度肢体不自由・重複障害児に派生物の観察や動物とのふれあいを体験してもらおう出前授業を実施していましたが、今年度はコロナ拡大防止のため職員は出張せず、DVD「金沢動物園の動物たち」の貸し出しを行いました。

また、野毛山動物園では、新規の取組として、3月30日に民間幼児保育園に対し、オンラインで園内見学のライブ中継を実施しました（参加人数：200名）。

⑤ 一般来園者向け教育プログラム（三園）

一般来園者を対象として、以下の教育プログラムを実施しました。

<三園>

プログラム名	概要	実施日
動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・とっておきタイム（ズーラシア）：動画を25本配信</li> <li>・お食事タイム（野毛山動物園）：動画を20本配信</li> <li>・わくわくタイム（金沢動物園）：動画を5本配信</li> </ul> このほか、各園とも臨時休園期間を中心に無観客ガイド等の動画の配信を実施	12月1日～ 1月7日の 平日



<よこはま>

プログラム名	概要	実施日
ガイドツアー	動物のエサを準備する台所等を見学するガイドツアー、園内を見学しながら動物の解説を聞く園内案内（ウォーキングツアー） ※臨時休園およびコロナ拡大防止に伴う中止期間中は動画を2本配信	11月25日 ～1月7日
ズーラシアどうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけるワークショップや講義（ズーラシア教室）を実施	12月毎日曜のみ実施
アフリカのサバンナでの体験活動	動物のふれあいを中心とした体験活動（バードショー、ピグミーゴートとのふれあい）を実施	中止

<野毛山>

プログラム名	概要	実施日
ガイドツアー	動物のエサを準備する飼料庫を見学するガイドツアーと動物病院を見学しながら解説を聞くガイドツアー（コロナ拡大防止のため、ツアーの様子を撮影した動画を3本配信）	通年

<金沢>

プログラム名	概要	実施日
ののはな教室	園内の自然をテーマにした季節の植物案内やクラフトの製作等を行う教室を実施	中止
企画展	ののはな館内にて金沢の自然や季節テーマにパネル等を展示	通年 (年4回)
お話し会	ののはな館図書コーナーにて幼児向けの紙芝居、読み聞かせを実施	中止

(5) 自主事業等の取組

三園の個性を発揮し、三園それぞれに行ってみたいと感じていただけるような企画を展開しました。また、コロナ拡大防止のため、新たにオンライン配信等での対応も行いました。

① 教育活動

よこはま動物園は『動物達が暮らす生息環境の中で世界の「自然」と「文化」を体感!』、野毛山動物園は『都会の中の憩いの空間で「動物」と「自然」を身近に体感!』、金沢動物園は『豊かな自然に囲まれて「森」と「動物」と「エコ」を体感!』を念頭に置き、事業を実施しました。

【令和2年度 教育活動 各園の主な取組】

<三園>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
一日飼育体験	動物舎の清掃やエサ作り等、飼育作業の体験プログラム ※中止に伴い、参加予定者へ動画配信や冊子郵送を実施	11月19日～30日（よこ） 12月5、6日（野） 11月21、22、23日（金）	中止

夏休み宿題教室	小学校等の夏休みの宿題に役立つプログラムを実施	7、8月	中止
子育て支援拠点への出張講座	動物の子育て等に関する出張講座	通年（令和2年度はコロナの影響で実施せず）	-

<よこはま>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
キノボリカンガルーの日特別イベント	キノボリカンガルーの日にちなみ、クイズや野生での話を動画配信	5月23～25日	4,419
世界カワウソの日特別イベント	世界カワウソの日にちなんで、ユーラシアカワウソのガイドとかみしばいを動画配信	5月27、28日	3,363
開園20周年記念シンポジウム	開園20周年にちなんで、ズーラシア開園までの話や、動物のこれまでの話を動画配信	5月30日	6,564
海のいきものSOS展	野生の海の生き物の現状について紹介したパネル展	6月11日～8月31日	-
ホッキョクグマにお魚プレゼント	発泡スチロール協会が行う「シロクマキャンペーン ストップ！地球温暖化！」の一環で、大きなお魚をホッキョクグマたちに与える様子を動画配信	7月23日	3,579
公開飼育研究会	三園と横浜市繁殖センターで行っている調査・研究の成果や飼育の工夫、様々な取組について飼育担当者が写真等を示しながらプレゼンテーションする動画を配信	7月31日	2,955
ハトの日特別ガイド	ハトの日にちなみ、オオミカドバトとオウギバトの特別ガイドを動画配信	8月10日	445
村田園長のとっておき写真展	村田園長が撮影した写真を季節ごとの見どころやポイントについて紹介したパネル展	9月2日～11月30日	-
ズーラシアフェス！パネル展「さる！さる！」って呼ばないで！	ズーラシアのサル仲間について紹介したパネル展	9月30日～11月3日	-
ズーラシアスクール	動物や人、それらを取り巻く環境について考える総合力を養うことを目的とした連続講座（小学6年生対象、リモート実施）	10月～3月	73
アムールヒョウ・ダッシュのお誕生日スペシャルムービー	アムールヒョウ「ダッシュ」の誕生日にちなんで、アムールヒョウやダッシュについての動画配信	11月12日	2,097
世界オカピの日特別イベント	世界オカピの日にちなんで、オカピのズーラシアでの生活や野生での生活についての動画配信	11月18日	2,329

干支展「MOO展～ギュ～っとウシ寄りな動物たち～」	丑年にちなんでズーラシアで飼育しているウシの仲間について紹介するパネル展	12月2日～3月1日	-
宿題教室「ズーラシアアドベンチャー」	飼育員と共に、亜寒帯の森の動物観察を行うツアー	12月5日	8
宿題教室「動物のヒミツ発見」	動物の筋肉に注目して、実際に動物を観察しながら学ぶワークショップ	12月12日	7
WE BRAND YOKOHAMA 連携イベント「進化の学校第二回」	横浜市芸術文化振興財団と連携し、地球上の動物の現状や取組について学ぶワークショップ	12月9日	24
とりたま	イースターにちなんでズーラシアで飼育している鳥類の卵について紹介したパネル展	3月3日～（4月5日）	-
大うんち展	動物のウンチの標本と動物のうんちについて紹介するパネル展	3月3日～（5月31日）	-
飼育の日パネル展	飼育の日にちなんで飼育員への質問の回答を紹介するパネル展	3月24日～（5月10日）	-

#### <野毛山>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
三施設連携環境企画展	西区区政推進課、横浜市中央図書館と連携した企画展	-	中止
野毛山動物園セミナー2021	飼育員による野毛山動物園開園70年の歴史を紹介する講演を動画配信	2月27日～（12月28日）	-
動物たちのSOS展	絶滅の危機に瀕する野生動物の保護活動の事例等をパネル展で紹介	2月16日～3月31日	-

#### <金沢>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
むし・虫・カブトムシ！展	身近な昆虫や世界のカブトムシ等の生体を展示。ホタル等の生態を紹介する「夜の身近な生きもの展」も併せて開催	7、8月	中止
世界サイの日パネル展	世界サイの日の紹介と、絶滅の危機に瀕しているサイの現状を伝えるパネル展	9月19日～9月22日	17,904
世界オカピの日特別動画上演	世界オカピの日の紹介と、オカピの現状を伝える動画を配信	10月13日～11月3日	-
国際テナガザルの日パネル展	国際テナガザルの日の紹介と、絶滅の危機に瀕するテナガザルの現状を伝えるパネル展	10月23日～11月1日	18,455
ZOO レンジャークイズラリー	絶滅の危機に瀕している動物たちをクイズで紹介するパネル展	12月の土日	13,279
Zoo to wildセミナー「身近な生きものの世界へようこそ」	飼育員による身近な生きもの生息場所での解説と、アカネズミ、ヤマアカガエル（飼育下個体）の観察	1月30日	17

## ② ふれあい体験

よこはま動物園では、自主事業としてふれあい体験のプログラムを用意しましたが、コロナ拡大防止のため大半が中止となりました。「馬にごはんをあげよう」については、実施方法を改善し、再開したところ、動物との距離を保つ形での実施となったため、これまで動物を怖がっていた子ども等も体験ができるようになりました。

場所	プログラム名	概要	実施日
ばかばか 広場	ひき馬体験	ばかばか広場でのひき馬体験	中止
	自然体験林でひき馬体験	園内の自然体験林の中での乗馬体験	中止
	馬の飼育係になってみよう	馬の餌の準備等飼育係の体験	中止
	馬にごはんをあげよう	馬の給餌体験	11月18日～ 1月7日
	小動物ふれあい	モルモット、パンダマウスのふれあい体験	中止
アフリカ のサバン ナ	ラクダライド	ラクダに乗る体験	中止
	ピグミーゴートとのふれあい	ピグミーゴートとのふれあい体験	中止
	ライオンへの給餌体験	トングを使ったライオンへの給餌体験	中止

## ③ イベント

よこはま動物園では、コロナ拡大防止のため、ナイトズーラシアをはじめ様々なイベントが中止となりました。実施を予定していた秋のスポーツイベントやハロウィン・クリスマス等の季節の特別ガイドは動画配信により実施しました。また、春の「ズーラシアガーデンパーティー」では、「イースター」をテーマにころころ広場に巨大なたまごのオブジェを配し、見ても遊んでも楽しいスポットを展開しました。また、スマートフォンアプリ「one zoo」(P. 9参照)の機能を活用したクイズラリーや、AR看板を設置し、非接触でも楽しめるイベントを展開しました。

野毛山動物園では、「動物感謝祭」をパネル展により実施、「インドライオンの『ラージャー』誕生日会」、「ツキノワグマの誕生日会」、「飼育員のエサづくりライブ」は動画配信により実施しました。

金沢動物園では、コロナ拡大防止に取り組みながら、楽しんでいただける企画として、クリスマスには二次元バーコードによる動画配信「サンタクロースのトナカイが金沢動物園に逃げてきた!？」を実施、お正月イベントでは、丑年にちなんだガイドの園内放送での実施や園内各所に大型看板クイズや写真を掲示した「ウシウシうっし展」を実施しました。3月には「Zoo to Wild Fes Spring～金沢動物園の春まつり～」として、保全団体や環境創造局と連携し、SDGsをテーマにパネル展や動画放映等を実施しました。

各園でのイベント実施実績は以下の通りです。

### 【令和2年度 イベント実施実績】

<三園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
雨の日限定プレゼント	雨天時限定で来園者にノベルティグッズのプレゼントを実施	7月	中止

七夕まつり	園内に七夕の装飾を設置	6月26日～ 7月7日	9,741（よこ） 3,784（野） 2,115（金）
飼育員は見た！閉園後の動物たち	例年8月土日祝に実施する夜間開園「よこはま夜の動物園」の中止に伴い、閉園後の動物たちの様子を撮影し動画配信	7月1日～ 8月31日	-
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもとその家族を夜の動物園へ招待するイベント	9月第一土曜	中止
ハロウィンイベント	季節のイベントとしてハロウィンの雰囲気を楽しめるよう、ハロウィンをテーマにした園内装飾を実施	9月9日～ 11月4日	167,911（よこ） 50,227（野） 22,635（金）
クリスマスイベント	各園でクリスマス装飾を実施 特別ガイドと動物たちへのプレゼント（野毛山）	11月18日～ 12月27日	104,991（よこ） 30,226（野） 21,647（金）
ポスターカレンダープレゼント	三園分のデザインをあわせると一枚の絵柄になるカレンダーを先着で来園者にプレゼント	12月土日、 1月2、3日	各園各日100名 (1,000名×三園)
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾	12月25日～ 1月11日	35,390（よこ） 61,712（野） 29,832（金）
どうぶつしりとりシールラリー	三園を巡ってシールを集め、しりとりを完成させると記念品をプレゼント（当初2月28日まで実施予定）	1月4日～ 1月7日	-（コロナ緊急事態宣言に伴い早期に中止したため）

<よこはま>

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーラシア夜市	ナイトズーラシアの開催に合わせて、イルミネーションや装飾、飲食ブースを設置	8月	中止
ズーラシアフェス！	ズーラシアにいる動物をテーマに楽しく学べるイベントや雑貨のブースを設置	10月	中止
ふれあい動物園	動物愛護センターと連携して動物愛護に関する普及啓発、動物園では飼育していない動物の展示やふれあいコーナー等	11月	中止
わくわく裏側ウォッチング	動物の寝室や調理室の見学や動物を間近に観察できるバックヤードツアー	12～2月	中止
ハッピーバレンタイン in ズーラシア	バレンタインにちなんだ園内装飾	2月3～15日	51,530
ズーラシアガーデンパーティー	イースターをテーマにした装飾によるガーデンパーティー	3月27日～ (4月4日)	53,474

<野毛山>

イベント名	概要	実施日	参加人数
動物感謝祭	三園の動物たちの誕生・長寿・死亡に関するパネル展	9月2～22日	40,190
飼育員のエサづくりライブ	飼育員がエサを作る様子を実演しながら解説(動画配信)	11月1、8、15日	—
ツキノワグマの誕生日会	特別なエサのプレゼントと特別ガイド(動画配信)	12月23日	—
インドライオン「ラジャー」誕生日会	特別なエサのプレゼントと特別ガイド(動画配信)	2月11日	—
あちこち70	園内各所に70周年のロゴマークを設置	3月16日～	—
70周年思い出巡り	園内各所に昔と今の比較写真を設置	3月23日～	—

<金沢>

イベント名	概要	実施日	参加人数
GW アフリカまつり	アフリカ区にスポットをあて、アフリカ区の動物ガイドやアフリカに関連した催し	5月2～6日	中止
ヒツジの毛刈りショー	ヒツジの毛刈りの様子を解説つきで紹介	5月5日	中止
動物たちの誕生日お知らせパネル展	飼育動物の誕生日をお知らせするパネル展	6月11日～3月31日	263,224
「カピバラさん」タイアップ15周年パネル展 フォトスポット設置	「カピバラさん」とタイアップしたパネル展とフォトスポットを設置	7月22日～12月27日	149,772
ひかるどうぶつえん	ナイト ZOO におけるプロジェクションマッピング等映像作品の展示	8月29、30日	中止
飼育員の推し写真展	飼育員だからこそ撮影できる写真の展示	9月15日～12月13日	111,106
シルバーウィークスペシャル	SDGs をテーマとした掲示物の掲示や塗り絵、ガイドを実施	9月19～22日	中止
動物しりとりパネル展	動物の種名や愛称でしりとりをするパネル展	10月6日～1月8日	90,976
どうぶつえんの文化祭	動物や植物、自然環境に関するブースでワークショップの実施、掲示物の掲示	10月10、11日	中止
サンタクロースのトナカイが金沢動物園に逃げてきた!?	動物たちのツノについての解説を撮影した動画を、園内に掲示した二次元バーコードで参加者自身が読み取って閲覧する企画	12月1～27日	14,291
フォトキャビン	ヨコハマトライフ・芸術創造特別支援事業「PHOTO CABIN 2020」にて、ミニワークショップ、フォトセッション等を実施	12月6日	141

冬の金沢動物園写真展	冬季の園内と動物たちの様子を紹介する写真展	12月15日～ 1月31日	25,526
ZOOから初日の出!	元日早朝に開園し、初日の出の鑑賞場所を提供	1月1日	中止
丑年ガイド	丑年にちなんだガイドを園内放送で実施	1月2、3日	4,731
ウシウシうっしっし展	干支であるウシ科の動物にスポットをあてたパネル展	1月2～31日	19,090
動物たちのなかよし写真展	飼育員がおすすめる動物たちの仲の良い様子を紹介するパネル展	2月2～28日	34,755
季節の花パネル展	動物園内に咲く季節の花々を紹介するパネル展	3月2日～3 月31日	28,399
Zoo to Wild Fes Spring ～金沢動物園の春まつり～	SDGsをテーマにしたクイズパネルの展示、キッチンカーによるジビエの販売、ジビエに関連した狩猟グッズの展示等	3月20、27、 28日	2,798

#### ④ その他の取組

##### ア メンバーシップ等の拡充

##### (ア) アニマルペアレント

より多くの方にお申込みいただける魅力ある制度となるよう、会員の方向けに、動物に関する情報や支援金を使った取組をお知らせする「アニマルペアレントニュース」を年4回発行・送付しました。アニマルペアレント制度による収入については、お申し込みいただいた皆様の思いをより活かすことができるよう、動物の飼育環境の改善に活用しました。

#### 【令和2年度 アニマルペアレント収入実績】

園名	口数	金額	前年度比
よこはま動物園	748	3,742,000円	123.7%
野毛山動物園	615	3,075,000円	131.7%
金沢動物園	507	2,535,000円	143.2%
計	1,870	9,352,000円	131.2%

#### 【令和2年度 アニマルペアレント収入 主な活用事例】

園名	内容
よこはま動物園	メガネグマ展示場止まり木修繕、ジャングルキャンプ看板改修、爬虫類用ライト購入、フランソワルトン展示場止まり木修繕、ホンダギツネ展示場修繕
野毛山動物園	ワラビー舎冷暖房設備設置、ライオン舎寝室エアコン設置
金沢動物園	カピバラ舎給湯器整備、インドゾウ舎給餌器設置、ペリカン用台修繕

##### (イ) 横浜市動物園友の会

各園で行う例会や施設見学会等の会員を対象としたイベントや機関誌「Zooよこはま」の発行(年4回)を通じて、市民と動物園とをつなぐ役割を果たしました。なお、令和2年度はコロナ拡大防止のため、総会、施設見学会は中止し、例会は会員限定での動画配信により実施しました。

【令和2年度 横浜市動物園友の会 会員数】

会員種別	会員数 (家族会員は組数)		
	令和元年度	令和2年度	前年度比
家族会員	170	145	▲25
大人会員	194	181	▲13
小人会員	4	6	+2
賛助会員	4	4	±0
計	372	336	▲36

(ウ) 年間パスポート発行枚数

潜在的支援者となりうるリピーター獲得のため、ポスターやホームページでの周知を行いました。年間での販売枚数はよこはま動物園で14,280枚、金沢動物園で3,198枚でした。

イ 野毛山動物園募金

入園料収入のない野毛山動物園においては、園内施設の改修等、来園者の利便性向上に資する取組に活用するため、園内に募金箱を設置して来園者からの寄附を募りました。開園70周年を控えた令和2年度は、個人の方から大口の寄付を2件いただきました。

(6) 自己評価

事業の進行管理と職員の目標管理を行うことで、業務改善や業務目標の達成に向けて取組みました。さらに、利用者の評価を広く収集し、PDCA マネジメントサイクルに組み込むことで、業務改善を行い、サービスの向上につなげました。

① 組織目標シートによる事業進行管理

各事業を効率的に達成するため、管理運営実施計画書の事業を分類し、スケジュールを決定しました。この組織目標シートに基づき、半期ごとに事業全体を振り返るとともに、毎月1回入園者数や各種収入等の実績を確認し、事業の進捗を管理しました。

② 職員の目標管理

職員ひとりひとりが、年度当初に年間目標を設定し、進捗管理を行うことにより、業務目標の達成につなげるとともに、必要な業務改善を行いました。

③ 利用者ニーズの把握、意見の収集

利用者調査アンケート、広聴(P.17)により、広く利用者のニーズを把握するよう努めるとともに、寄せられた意見を業務改善とサービスの向上に反映しました。また、イベントについては、その参加者を対象に、以下の通りアンケートを実施し、次回以降のイベント内容の改善に役立てました。



**【令和2年度 イベント参加者アンケート実施実績】**

	イベント名	実施日	人数
金沢	「サンタクロースのトナカイが金沢動物園に逃げてきた!？」	12月12、13、20、26、27日	220

3 動物の飼育管理

(1) 動物の飼育計画

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で、より効果的な計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案し、計画的な保全に努めました。

(2) 動物舎および展示場の管理

動物舎および展示場の管理は、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理しました。また、より適切な飼育環境を実現するため、以下の通り展示場の改善を行いました。

**【令和2年度 主な展示場改善】**

園名	概要	効果
よこはま	フランソワルトン展示場止り木修繕	劣化した止り木を更新することで、動物本来の行動を引き出すことを促しました。
	ホンドギツネ展示場改修	展示場の擬岩等を改修することで安全安心かつ、より魅力的な展示としました。
	メガネグマ展示場止り木修繕	劣化した止り木を更新することで、動物本来の行動を引き出すことを促しました。
	ジャングルキャンプ展示場改修	展示ケース、看板をリニューアルするとともに、新たな飼育動物を展示することで展示スペースの魅力アップにつなげました。
	フランソワルトン展示場止り木修繕	劣化した止り木を更新することで、動物本来の行動を引き出すことを促しました。
野毛山	類人猿舎展示場木製やぐら更新	劣化したやぐらを更新することで、チンパンジーの行動範囲の拡大を促しました。
	ライオン舎寝室冷暖房機器設置	寝室の温度管理が可能となったことで、飼育個体の健康管理の質が向上しました。
	ワラビー舎冷暖房機器設置	温度管理が可能となったことで、飼育個体の健康管理の質が向上しました。
金沢	コアラ舎空調改修	年間を通じて温度管理が可能となったことで、飼育個体の健康管理の質が向上しました。
	インドサイ舎ガラスビュー修繕	サブ展示場のアクリルガラスを更新したことで展示の魅力向上を図りました。
	ワラビー舎柵更新	展示場の柵を更新し、新規導入種としてパルマワラビーの展示が可能となりました。

(3) 動物の繁殖計画

① 動物の生態を踏まえた繁殖計画

動物の繁殖については重点保全種を中心に以下の通り取組みました。繁殖に取り組む準備を進める種については、国内外からの情報収集等に取り組む、海外との連携強化に努めました。また、前年度によこはま動物園において導入した腹腔鏡システムにより、日本初となる人工授精によるツシマヤマネコの繁殖に成功しました。

【令和2年度 主な繁殖動物】\*は重点保全種

よこはま動物園		野毛山動物園		金沢動物園	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
アカカンガルー	1	オグロワラビー	1	オオツノヒツジ	2
アカアシドゥ克蘭グール*	1	アカエリマキキツネザル	1	コアラ	1
フランソワルトン*	1	フサオマキザル	1	スーチョワンパーラル	1
ニホンザル	1	ハウシャガメ*	1	パルマワラビー	1
ボウシテナガザル*	1	ヘサキリクガメ*	1		
ツシマヤマネコ	1	ルリゴシボタンインコ	6		
エランド	1				
オシドリ	2				
カンムリセイラン*	1				
オウギバト	3				
ベニハチクイ	2				
11種 15点		6種 11点		4種 5点	

② 国内外において当団体が担う、保護・繁殖の役割

当協会が多くの実績や技術を有する種について、率先して国内外の動物園との連携を図りました。また、(公社)日本動物園水族館協会(以下「JAZA」という。)の役割を担うことで、保護・繁殖に携わりました。

【令和2年度 (公社)日本動物園水族館協会内役割】

役割	動物種
類別調整者	食肉類(副類別調整者)
種別計画管理者	マレーバク、ウンピョウ、インドサイ、シロテナガザル、ユーラシアカワウソ
個体群管理者	ヤブイヌ、オオカンガルー、ブラジルバク、アラビアオリックス、ミゾゴイ、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
専門技術員	ツシマヤマネコ、アジアゾウ、コアラ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、スマトラトラ、シロテナガザル、ハウシャガメ
生息域外保全検討作業部会	ミヤコカナヘビ
繁殖表彰審査委員	爬虫類

#### (4) 動物の獣医学的衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察および専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。

健康診断や体重測定、その他採食、行動、被毛の状態等を常に細かく観察し、飼育担当者と獣医師が連携して、健康管理を行いました。感染源を持ち込まない衛生管理を徹底し、確実な検疫等を実施して、希少な野生動物を健康に飼育しました。

高病原性鳥インフルエンザ防疫対応策としては、横浜市の通知に基づき、防疫対応策のレベルに合わせた鳥類の非展示等を行ったほか、鳥インフルエンザマニュアルを一部改正し、国内での発生状況に迅速に対応できる体制を整えました。CFS（豚熱）についても、横浜市ほかの関係機関と連携し、国内での情報収集に努めたほか、園内の消毒マット設置や教育普及プログラムの見直し等を行いました。

このほか、三園すべての獣医師が、インターネットを通じて最先端の獣医学的知見を共有することのできるサービスであるVMN(Veterinary Medical Network)を利用することのできる環境を整え、継続的に医療技術の向上を図っています。

#### (5) 野生動物の保護

##### ① 傷病鳥獣保護

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取組を行うとともに、ブログ、SNS等で野生動物の現状を紹介しました。なお、令和2年度は、4月18日～5月31日、11月1日～3月31日までの間、横浜市からの指示にもとづき、コロナ拡大防止および鳥インフルエンザ防疫体制のため、傷病鳥獣の受け入れを中止しました。

【令和2年度 傷病鳥獣保護点数】

園名	点数		
	令和元年度	令和2年度	前年度比
よこはま動物園	262点	158点	▲104点(60.3%)
野毛山動物園	221点	105点	▲116点(47.5%)
金沢動物園	424点	292点	▲132点(68.9%)
計	907点	555点	▲352点(61.2%)

##### ② 国内外における保全活動

国内での取組としては、よこはま動物園において、環境省によるツシマヤマネコの保護増殖事業に協力し、繁殖生理、栄養に関するデータ収集を行いつつ、国内初となる人工繁殖に取組み、1月に実施した人工授精によりオス1頭の繁殖に成功させました。

野毛山動物園においては、ミゾゴイ、ミヤコタナゴ、ミナミメダカ(横浜在来個体群)等の保全のため、関係機関と連携して、繁殖・普及活動を行い、11月には職員がミヤコタナゴ生息地での保全活動に参加しました。このほか、環境省とJAZAが締結した協定書に基づくミヤコカナヘビ域外保全事業へ野毛山動物園が参画し、3月15日から同種の飼育を開始(現段階では原則非公開)。

金沢動物園では、職員がライチョウ会議に出席する等、ニホンライチョウに関して国内の関係園館および関係機関と研究成果や保全計画に関する情報共有を行いました。また、インドサイについて、近年、国内での繁殖が停滞していたことから、個体組み合わせを変更しての繁殖を目指し、金沢動物園と多摩動物公園との間でメス個体同士の交換を行いました。また、令和3年度からトゲネズミ類生息域外保全等推進事業に参画することが決定し、飼育施設の整備を実施しました。

国際的な取組として、よこはま動物園および金沢動物園において「世界オカピの日」等に関連させてオカピに関する教育普及活動に取り組みました。また、テングザルについて、よこはま動物園とインドネシアの関係者との間で保護協定の更新に向けた協議を進めたほか、支援金の募金活動を行いました。

### ③ 市民への普及活動

野生動物保護についての市民に向けた普及活動として、各園にて講演会等を実施しました。

よこはま動物園では、延期になっていた開園20周年記念シンポジウム「ズーラシア楽会」を動画配信により実施しました。

野毛山動物園では、動物園の役割のひとつである、野生動物の保護活動の一環として「ペットや製品として消費される野生動物」や「生息地での密猟や密輸の現状」「生物多様性の必要性」を外部機関との協働で啓発するためのパネル展を実施、また、野毛山動物園セミナーでは、動物園職員による「現在の姿からしのぶ野毛山動物園の歴史」と題し、野毛山動物園が辿ってきた歴史を動画配信で紹介。公開飼育研究会では、三園および横浜市繁殖センターで実施した調査研究結果や各施設での取組を動画配信しました。

金沢動物園では1月に、Zoo to wildセミナー「身近な生きものの世界へようこそ」を実施しました。

## (6) 調査・研究

調査・研究により得られた成果を積極的に発表し、また広く情報発信しました。

### ① 日々の業務の中で積み重ねる調査研究業務

コロナ拡大防止のため、原則月に1回実施する「各園飼育研究会」は部分的な実施となりました。各園の飼育研究会では職員の研究成果を発表し、情報共有を行ったほか、研究会、学会等への発表を行いました。なお、例年実施している「三園合同飼育研究会」は、コロナ拡大防止のため、動画の配信による開催としました。

#### 【令和2年度 各園飼育研究会実績】

園名	テーマ (一部)	件数 (前年度比)
よこはま	ドールのペア飼育から群れ飼育への切り替えから見える行動変化	10件 (▲18件)
	チンパンジーの心臓の検査	
	飼育から得られたベニハチクイの換羽に関する知見	
	ゴールデンターキンの給餌内容見直しと繁殖経過	

野毛山	ホウシャガメの孵化率と有精卵率の調査	10 件 (▲2 件)
	比内鶏の体脂肪について	
	放飼が去勢テンジクネズミ ( <i>Cavia porcellus</i> ) の毛食い、耳かじりに及ぼす影響	
	インターネットコンテンツの活用～SNS 投稿とその評価～	
金沢	人工哺育のオオツノヒツジの死亡事例の原因と考察	12 件 (▲2 件)
	金沢動物園での簡易型エコー使用の試み	
	動物園内での QR コードによる動画配信～利用者インタビューから分かったこと	
	R2 年度に繁殖したコアラ No.56 (♀) の成長記録	
計		32 件 (▲22 件)

- ② 横浜市繁殖センター、大学等との共同研究  
繁殖センターや大学、外部研究機関等とともに積極的に共同研究活動を行いました。

【令和2年度 大学、企業等 共同研究件数】

園名	共同相手先	テーマ (一部)	件数 (前年度比)
よこはま	日本大学	飼育下オカピの施設間移動が個体に与える影響について	15 件 (▲13 件)
	東京農工大学	ユーラシアカワウソの飼育技術向上を目的とした腸内細菌叢の研究	
	岐阜大学	キリンの糞中の性ステロイドホルモンの測定	
	近畿大学	学習者の能動的な生命概念構築を支援する持続可能性に向けた動物園 (植物園を含む) 教育の デザインと評価	
	ヤマザキ動物 看護大学	ズーラシア来園者のホッキョクグマ見学時における発話・行動内容 ー特に教育ツールの利用実態についてー	
野毛山	近畿大学	学習者の能動的な生命概念構築を支援する持続可能性に向けた動物園教育のデザインと評価	9 件 (+1 件)
	宮崎大学	飼養動物の寄生虫感染状況及び駆虫プログラムの実施状況について	
	立命館大学	飼育下霊長類における他者認知・自己認知に関する調査について	
	立命館大学	飼育下霊長類における色覚調査について	
	東京農工大学	傷病野生動物の二次治療に関する連携研究について	
金沢	日本大学	飼育下オオツノヒツジを対象とした展示場の違いによる行動比較	14 件 (▲4 件)
	日本大学	硬度計を使用した動物種および環境要因の違いにより生じる蹄の硬度の差異についての検討	
	日本大学	鳥類の血液原虫感染に関する試験的治療について	
	京都大学	動物園動物における血液ガス分析の測定について	
	鶴見大学	金沢動物園におけるヤマアカガエルの産卵数の確認調査	
計			38 件 (▲16 件)

**【令和2年度 繁殖センター 共同研究件数】**

園名	共同相手先	テーマ（一部）	件数 (前年度比)
よこはま	繁殖センター 岐阜大学	キリンの糞中の性ステロイドホルモンの測定	13件 (±0件)
		テングザルの繁殖生理に関する研究	
		セスジキノボリカンガルーの糞中の性ステロイドホルモンの測定	
		ホッキョクグマの繁殖生理に関する研究	
野毛山	繁殖センター	キリンの性ステロイドホルモンの測定	2件 (±0件)
		飼育下ヘサキリクガメの血縁関係調査	
金沢	繁殖センター	アカハライモリの遺伝的多様性解析	3件 (+2件)
	繁殖センター 岐阜大学	ヒガシクロサイ雌の妊娠期の糞中ステロイドホルモン動態の分析	
	繁殖センター 岐阜大学	糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたインドサイの性周期のモニタリング	
計			17件 (+1件)

③ 研究成果の情報発信および動物園活動への応用

国内外の学会や研究会で研究成果を積極的に発表しました。

令和2年度は、金沢動物園におけるインドゾウに対するQOL向上の取組が特定非営利活動法人市民ZOOネットワーク主催の「エンリッチメント大賞」を受賞し、表彰式において講演を行いました。また、ヘサキリクガメの繁殖についての英語論文が、世界的な動物園学術誌である「ZOO BIOLOGY」に掲載されました。

年間の各園における飼育研究会の発表内容については、研究会報を刊行し、職員へ共有するとともに、JAZA加盟の他動物園へも送付しました。これらの調査研究により得られた成果は、飼育、繁殖、予防医学等に役立てました。

**【令和2年度 研究会実施・参加実績】**

研究会・会議名	実施回数・実施日等
各園飼育研究会	よこはま：8回、野毛山：10回、金沢：12回
三園合同飼育研究会（一般公開）	コロナ拡大防止のため動画配信により実施
関東東北北海道ブロック動物園技術者研究会	コロナ拡大防止のため中止

**【令和2年度 投稿記事・論文発表回数】**

園名	発表先	テーマ	回数 (前年度比)
よこはま	神奈川県博物館協会会報 92号	「博物館における外国人利用者対応状況」アンケート調査の報告	1回 (+1回)

金沢	Animal Behavior and Management, 56(2) : 63-70, 2020	飼育下アジアゾウの自動給餌機導入による効果の検証	3回 (+1回)
	観音崎自然博物館研究報告たたらはまNo.24 : 21-25 (2020)	横浜市におけるイタチの記録	
	ZOO BIOLOGY 2021;1-4.	Captive environmental change and induction of natural breeding and egg-laying in ploughshare tortoises ( <i>Astrochelysyniphora</i> )	
計			5回 (+3回)

【令和2年度 各種研究会における口頭発表回数】

園名	発表先	テーマ	回数 (前年度比)
金沢	一般社団法人日本環境教育学会 (オンライン)	SDGs 達成に向けて動物園にできることーチンパンジーを題材にした教育プログラムを例にー	4回 (▲4回)
	野生動物研究センター共同利用研究会 2020 (オンライン)	飼育下コアラ ( <i>phascolarctos cinereus</i> ) における尿中ステロイドホルモン濃度測定による生理的变化の評価	
	25th IZE Conference (オンライン)	Chimpanzee's forest and SDGs; What should we do together with wildlife for future?	
	エンリッチメント大賞 2020 表彰式・受賞講演会 (オンライン)	インドゾウに対する QOL 向上の取組	
計			4回 (▲16回)

【令和2年度 講師、ポスター発表等回数】

園名	発表先	テーマ	回数 (前年度比)
三園	麻布大学 動物園概論 (オンライン)	生物分類学・動物園概論 (展示・教育) (講師) (各園1回)	3回 (±0回)
よこはま	環境創造局業務研究・改善事例発表会 (ポスター発表)	カンムリセイランの繁殖・自然育雛にいたるまでの1年半の経過	2回 (▲3回)
	第61回日本動物園水族館教育研究会 (ポスター発表)	ズーラシアスクール これまでとこれからのその後～自分と環境とのかかわりを考える力をつけるためのあれこれ～	
野毛山	環境創造局業務研究・改善事例発表会 (ポスター発表)	野毛山動物園の教育プログラム利用の中学・高校生からの質問傾向	1回 (▲1回)

金沢	日本獣医生命科学大学 特別講義(資料提供)	動物園の役割とその活動 (講師)	4回 (▲4回)
	においのお話-Story of Smell-(オンライン)	動物園のにおいから見る日常 (講師)	
	環境創造局業務研究・改善事例発表会 (オンライン)	繁殖を目的としたゾウの移動について (ポスター発表)	
	横浜市立大学総合講義 (国際協力の実践と課題) (オンライン)	横浜市の自然保護国際協力 (講師)	
計			9回 (▲6回)

④ (公社) 日本動物園水族館協会 (JAZA) における役割

JAZA の総務委員会倫理福祉部員、教育普及委員会の委員長、普及啓発部員が選任され、課題研究・検討に携わりました。

4 施設等の維持管理計画

(1) 施設管理の基本事項

劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を選択しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。また、設備更新では省エネ・省資源設備への更新を進めました。

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

① 三園が連携した維持管理体制を確立

「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。

② 維持管理計画 (修繕計画含む) に基づく計画的な業務

各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備

公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。

④ コスト削減を可能にする維持管理

安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。



【令和2年度 修繕作業・工事实施実績】

園名	件数		
	令和元年度	令和2年度	昨年度比
よこはま動物園	117件	120件	+3件
野毛山動物園	48件	55件	+7件
金沢動物園	60件	50件	▲10件
計	225件	225件	±0件

(2) 施設および設備の維持管理

動物舎等の施設および設備、管理棟、管理詰所等の施設および設備、レストラン、売店棟の施設および設備、その他設備の維持管理（衛生的で快適な施設利用の実現）を行いました。また、各園の施設年間作業計画を作成、実施しました。

(3) 園地および遊具等の維持管理

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行い、また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行い、各園の魅力を高めました。

① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアルや植物カルテにより高水準な維持管理を確保しました。また、「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。

② 園地の維持管理（快適な園地環境の提供）

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等を機能を損なうことなく、ゴミのない快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕・充実・強化を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミスの防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ、ナラ類等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。

なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④ 遊具施設やその他の施設の維持管理

ア 遊具の維持管理

遊具は、危険箇所、壊れた部品がないか、不具合な部分がないか、近いうちに支障が生じるであろう場所はないか等、安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と相談し、早急に対応しました。点検結果はすみやかに市へ報告しました。

#### イ その他の施設の維持管理

「安全性」と「快適性」を特に重視し、維持管理を実施しました。「公園施設点検チェックシート」を使用して年4回の施設点検を実施し、結果を市に報告しました。

#### (4) 施設および設備等の安全対策

##### ① 施設および設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のための公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

#### 【令和2年度 点検実施実績】

点検名（実施日）
日常点検（毎開園日）
定期点検（各設備の法定点検日）
臨時点検・緊急点検（適宜）

#### 5 管理運営経費実績

##### (1) 算定の考え方

以下の通り、管理運営経費の削減と収入の増加に取り組みました。

##### ① 収入増加の取組

各種イベント、広報活動により、積極的に集客対策に取り組みました（P. 8 参照）。

既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は7社、野毛山動物園は2社、金沢動物園は1社と協賛契約を締結しました。

また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度（P. 27 参照）や野毛山動物園募金（P. 28 参照）を活用しました。

このほか、令和2年度は、三園のショップ・レストランの運営事業者と調整の上、Go To トラベルおよびGo To Eat キャンペーンに参画し、コロナの影響により低下した売り上げを補うための収益増加に努めました。

##### ② 経費削減の取組

三園一体での共同発注を行い、スケールメリットを活かすことで経費の削減に取り組みました。また、発注方法や契約内容の見直しを随時行うことで効率化を図りました。

なお、三園においてコロナ対策のために必要となった経費については、文化庁による「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（補助金）」に応募し助成金を受けたほか、よこはま動物園における事前予約制の導入にあたり、KDDI（株）よりシステムの無償提供を受けることで（P. 9 参照）、管理運営上の負担を軽減するよう努めました。

【令和2年度 主な三園共同発注】

園地管理業務	動物用飼料	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フロアーマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	利用者アンケート集計・分析
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

④ 委託

直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託により実施しました。

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位 円)

科 目	公益目的事業会計				小計	収益事業等会計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通					
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	70,500	70,500	0	0	0	70,500
基本財産受取利息	0	0	0	70,500	70,500	0	0	0	70,500
特定資産運用益	28,727,589	0	552,102	0	29,279,691	30,013	0	0	29,309,704
特定資産受取利息	28,727,589	0	552,102	0	29,279,691	30,013	0	0	29,309,704
事業収益	0	1,085,819,956	2,905,020,363	0	3,990,840,319	1,125,777,938	0	0	5,116,618,257
事業収益	0	1,085,819,956	2,905,020,363	0	3,990,840,319	1,125,777,938	0	0	5,116,618,257
受取補助金等	0	0	1,196,000	0	1,196,000	0	0	0	1,196,000
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	50,433	0	0	50,433
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	50,433	0	0	50,433
受取寄付金	0	345,880	5,533,366	0	5,879,246	0	0	0	5,879,246
受取寄付金	0	345,880	0	0	345,880	0	0	0	345,880
受取寄付金振替額	0	0	5,533,366	0	5,533,366	0	0	0	5,533,366
雑収益	1,224,502	4,308,875	900,010	0	6,433,387	49,261,270	510,670	0	56,205,327
受取利息	2	0	0	0	2	142	0	0	144
雑収益	1,224,500	4,308,875	900,010	0	6,433,385	49,261,128	510,670	0	56,205,183
経常収益計	29,952,091	1,090,474,711	2,913,201,841	70,500	4,033,699,143	1,175,119,654	510,670	0	5,209,329,467
(2) 経常費用									
事業費	80,674,130	1,175,958,968	2,821,036,383	0	4,077,669,481	885,295,949			4,962,965,430
役員報酬	280,700	898,240	898,240		2,077,180	561,400			2,638,580
役員賞与	45,000	144,000	144,000		333,000	90,000			423,000
給料手当	23,928,944	239,236,757	833,417,767		1,096,583,468	112,946,658			1,209,530,126
賞与引当金繰入額	2,052,388	21,011,977	73,977,560		97,041,925	5,026,253			102,068,178
貸金	3,841,330	175,448,498	48,891,882		228,181,710	52,664,789			280,846,499
派遣者貸金	0	0	0		0	10,264,655			10,264,655
退職給付費用	1,667,309	5,511,919	45,172,577		52,351,805	4,180,842			56,532,647
法定福利費	5,073,744	55,681,301	148,515,562		209,270,607	23,119,545			232,390,152
福利厚生費	358,514	4,693,270	6,744,097		11,795,881	1,000,970			12,796,851
教育研修費	122,907	1,538,382	709,772		2,371,061	293,604			2,664,665
会議費	0	0	0		0	0			0
旅費交通費	58,283	1,870,685	1,435,626		3,364,594	661,517			4,026,111
通信運搬費	805,107	6,858,190	5,674,448		13,337,745	2,584,436			15,922,181
減価償却費	173,505	1,621,601	16,963,988		18,759,094	42,223,238			60,982,332
公共施設負担金償却費	0	0	0		0	41,963,432			41,963,432
消耗什器備品費	0	2,127,400	1,809,730		3,937,130	166,540			4,103,670
指定管理対象財産購入費	0	1,191,146	10,284,943		11,476,089	0			11,476,089
消耗品費	11,944,261	36,474,370	213,457,528		261,876,159	5,535,661			267,411,820
修繕費	9,326	34,373,056	86,299,949		120,682,331	14,651,570			135,333,901
印刷製本費	752,297	2,609,815	7,643,810		11,005,922	5,264,061			16,269,983
燃料費	23,790	1,719,672	1,609,569		3,353,031	1,242,261			4,595,292
光熱水料費	302,953	115,739,604	241,924,663		357,967,220	15,875,846			373,843,066
貸借料	3,432,193	20,095,059	31,117,595		54,644,847	58,353,116			112,997,963
管理許可使用料	0	0	0		0	212,473,407			212,473,407
保険料	24,269	2,236,317	1,962,734		4,223,320	1,728,220			5,951,540
諸謝金	420,250	4,539,116	3,496,380		8,455,746	354,343			8,810,089
交際費	0	15,373	35,410		50,783	0			50,783
渉外費	0	184,432	1,295		185,727	6,948			192,675
諸会費	0	120,000	3,163,602		3,283,602	204,500			3,488,102
租税公課	297,918	46,525,197	125,487,146		172,310,261	42,777,337			215,087,598
支払負担金	16,408,778	6,000	1,026,224		17,441,002	22,057,280			39,498,282
支払助成金	7,121,090	66,000	5,000		7,192,090	0			7,192,090
支払寄付金	0	242,110	576,235		818,345	0			818,345
委託費	1,251,810	391,890,398	885,815,449		1,278,957,657	185,921,110			1,464,878,767
手数料	238,865	857,418	3,708,393		4,804,676	893,857			5,698,533
広告費	38,599	357,265	12,101,037		12,496,901	108,733			12,605,634
仕入代金	0	0	0		0	17,262,285			17,262,285
雑費	0	74,400	6,964,172		7,038,572	2,837,535			9,876,107
管理費							29,943,684		29,943,684
役員報酬							9,758,380		9,758,380
役員賞与							1,637,000		1,637,000
給料手当							6,173,091		6,173,091
賞与引当金繰入額							667,873		667,873
貸金							261,110		261,110
退職給付費用							500,578		500,578
法定福利費							1,541,822		1,541,822
福利厚生費							211,253		211,253
教育研修費							80,135		80,135
旅費交通費							11,095		11,095
通信運搬費							447,899		447,899
減価償却費							98,669		98,669
消耗品費							1,005,062		1,005,062
印刷製本費							158,119		158,119
燃料費							885		885
光熱水料費							194,755		194,755
貸借料							1,749,570		1,749,570
保険料							2,301		2,301
諸謝金							3,412,821		3,412,821
交際費							119,302		119,302
渉外費							145,363		145,363
諸会費							406,400		406,400
租税公課							168,376		168,376
支払負担金							0		0

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計	経営事業	法人会計		
支払助成金							254,000		254,000
委託費							754,308		754,308
手数料							152,708		152,708
広告費							24,814		24,814
雑費							0		0
経常費用計	80,674,130	1,175,958,968	2,821,036,383	0	4,077,669,481	885,295,949	29,943,684	0	4,992,909,114
評価損益等調整前当期経常増減額	△50,722,039	△85,484,257	92,165,458	70,500	△43,970,338	289,823,705	△29,433,014	0	216,420,353
基本財産評価損益等	0	0	0	△23,905	△23,905	0	0	0	△23,905
特定資産評価損益等	△944,904	0	0	0	△944,904	0	△544,000	0	△1,488,904
評価損益等計	△944,904	0	0	△23,905	△968,809	0	△544,000	0	△1,512,809
当期経常増減額	△51,666,943	△85,484,257	92,165,458	46,595	△44,939,147	289,823,705	△29,977,014	0	214,907,544
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	151,435	2	0	151,437	673	2	0	152,112
経常外費用計	0	151,435	2	0	151,437	673	2	0	152,112
当期経常外増減額	0	△151,435	△2	0	△151,437	△673	△2	0	△152,112
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△51,666,943	△85,635,692	92,165,456	46,595	△45,090,584	289,823,032	△29,977,016	0	214,755,432
他会計振替額	0	0	0	188,871,230	188,871,230	△217,518,497	28,647,267	0	0
うち収益の繰入				188,871,230	188,871,230	△188,871,230	0	0	0
うち資産の移転				0	0	△28,647,267	28,647,267	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△51,666,943	△85,635,692	92,165,456	188,917,825	143,780,646	72,304,535	△1,329,749	0	214,755,432
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	33,605,600	0	0	33,605,600
過年度法人税等調整額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△51,666,943	△85,635,692	92,165,456	188,917,825	143,780,646	38,698,935	△1,329,749	0	181,149,832
一般正味財産期首残高					303,479,763	2,700,502,050	2,532,324	0	3,006,514,137
一般正味財産期末残高					447,260,409	2,739,200,985	1,202,575	0	3,187,663,969
II 指定正味財産増減の部									
受取横浜市補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	6,587,445	0	15,543,015	0	22,130,460	0	0	0	22,130,460
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	12,095	12,095	0	0	0	12,095
特定資産評価損	2,509,321	0	0	0	2,509,321	0	0	0	2,509,321
一般正味財産への振替額	0	0	△5,533,366	0	△5,533,366	△50,433	0	0	△5,583,799
当期指定正味財産増減額	4,078,124	0	10,009,649	△12,095	14,075,678	△50,433	0	0	14,025,245
指定正味財産期首残高					2,609,485,735	201,741	0	0	2,609,687,476
指定正味財産期末残高					2,623,561,413	151,308	0	0	2,623,712,721
III 正味財産期末残高					3,070,821,822	2,739,352,293	1,202,575	0	5,811,376,690